



福岡医発第1103号(地)

平成25年 7月25日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会

会長 松 田 峻 一 良

(公印省略)

「救急の日のつどい2013」の開催について(ご案内)

時下 貴職ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、来る9月8日(日)に開催いたします「救急の日のつどい2013」のチラシが本年度担当の直方鞍手医師会より届きましたので、お送りいたします。

今年度は、「あなたの手で救える命」というテーマのもと、直方市消防本部により、寸劇形式にて救急法講習を実施いただきます。また、記念講演では飯塚病院副院長兼救命救急センター所長の鮎川勝彦先生に「誰でもできる“予防救急”のお話」と題して講演いただきます。その他、併設イベントとして、消防車・救急車の展示や防火衣試着、救急クイズなどを実施いたします。

つきましては、貴会会員はじめ会員関係者等多数ご参加いただけるよう、周知方よろしくお願い申し上げます。

なお、「救急の日のつどい2013」のポスターにつきましては、後日、貴会宛1部お送りいたしますので、会館内等に掲示ください。

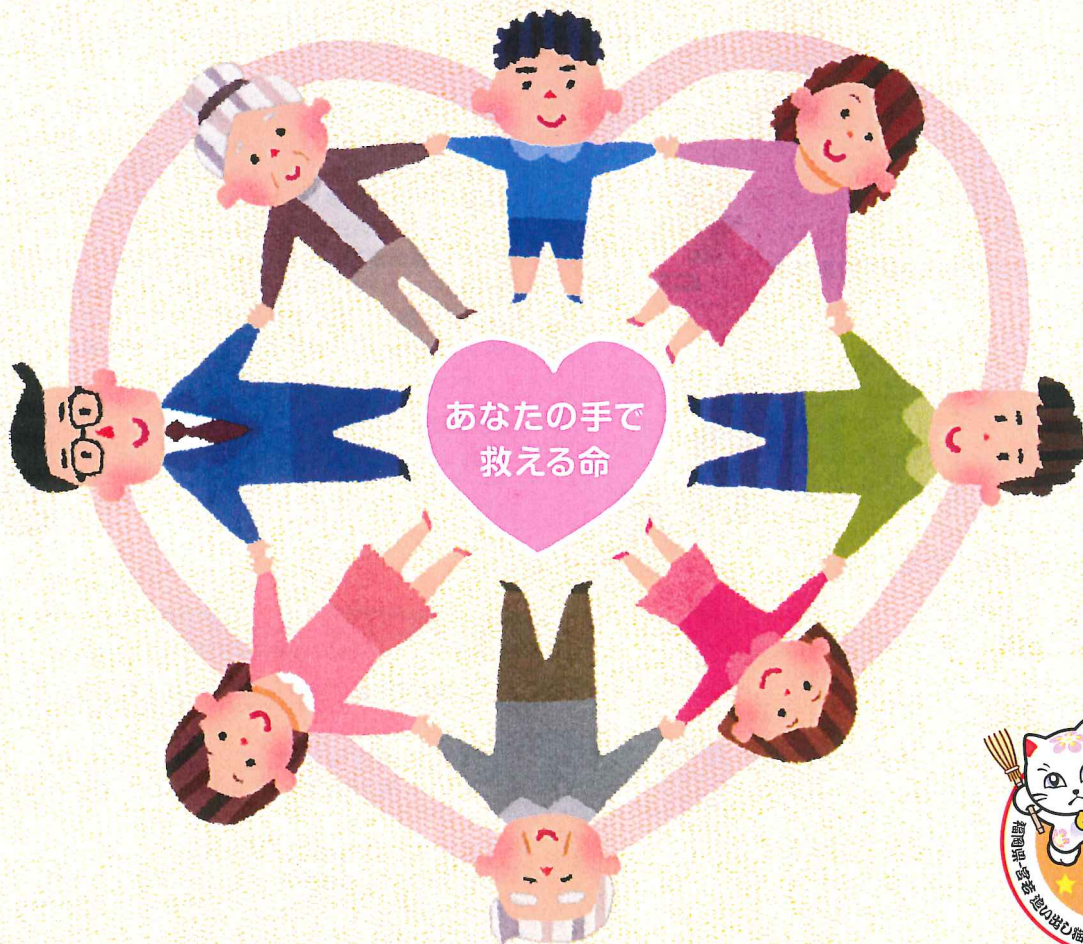
小郡三井医師会より

救急医療担当理事 島田昇二郎
会長 蒲池 壽

福岡県

救急の日のつどい 2013

覚えておこう、応急手当！



日時：平成25年9月8日(日)

13:30~16:00

(併設イベント 13:00~14:00)

会場：マリーホール宮田

(福岡県宮若市宮田 29-1)



※市立図書館(リコリス)前の駐車場は図書館利用者優先です。地域交流センター側の多目的駐車場をご利用ください。

アトラクション

♥ ミュージカル“追出し猫を追いかけて”より
歌とダンス

- 劇団宮若レインボーカンパニー
- 特別出演：宮若市「追出し猫」



♥ 救急法講習(寸劇)

- 直方市消防本部
- 特別出演：宮若市「追出し猫」



記念講演《来場者には粗品プレゼント》

♥ 「誰でもできる“予防救急”のお話」

《講師》飯塚病院副院長兼救命救急センター所長
鮎川 勝彦先生



併設イベント(マリーホール前駐車場)

♥ 消防車・救急車の展示

♥ 防火衣試着(お子様に限ります。写真撮影をご希望の方は、カメラをご持参ください。)

♥ 救急クイズ



※講演者・プログラムについては変更される場合がありますので、予めご了承ください。

主催：福岡県、福岡県医師会、福岡県メディカルセンター、直方鞍手地域救急の日のつどい実行委員会

(直方鞍手医師会、直方歯科医師会、直方鞍手薬剤師会、直方市消防本部、直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部、直方市、宮若市、小竹町、鞍手町、嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所)

イベントスケジュール

13:00	受付開始
13:30	開 会 開会あいさつ 直方救急医療協会会長 主催者あいさつ 福岡県知事 福岡県医師会長 宮若市長 救急医療関係功労者県知事表彰
14:10	アトラクション ミュージカル“追い出し猫を追いかけて”より歌とダンス 劇団宮若レインボーカンパニー 特別出演:宮若市「追い出し猫」
14:35	救急法講習(寸劇) 直方市消防本部 特別出演:宮若市「追い出し猫」
15:00	記念講演 「誰でもできる“予防救急”のお話」 講師:飯塚病院副院長 兼救命救急センター所長 鮎川 勝彦 先生
16:00	閉 会

アトラクション

ミュージカル

“追い出し猫を追いかけて”より歌とダンス

出演:劇団宮若レインボーカンパニー

昨年の定期公演の作品「追い出し猫を追いかけて～昔、ここにあった物語～」の中から、見どころをぎゅっとつめて20分バージョンでお届けします。この作品には、昔から伝わる“追い出し猫伝説”をもとに「今も昔も宮若市には変わらない風景がある。そんなふるさとを大切にしよう。」というメッセージがこめられています。

“追い出し猫伝説”とは、猫がネズミを退治し、村人を救ったという宮若市の伝説。そこから、「不幸、災いを追い出す、**追い出し猫**」と、「幸せを招く、**招き猫**」の両方の顔をもつ、さくらちゃん・くらちゃんたちも登場します! 猫たちが大活躍するステージをお楽しみください。

《劇団宮若レインボーカンパニー》プロフィール

2006年2月宮若市合併を記念して結成。
年に一度の自主公演の他、地域のさまざまな行事に参加し、ミュージカル・演劇を通じて、宮若市の歴史・文化を伝えていきます。



記念講演《来場者には粗品プレゼント》

「誰でもできる“予防救急”のお話」

《講師》飯塚病院副院長
兼救命救急センター所長 鮎川 勝彦 先生

救急疾患の多くは予防可能だと思いませんか?
怪我だけでなく、糖尿病や高血圧症など生活習慣病、その結果起こってくる心筋梗塞や脳卒中、そしてがんも例外ではありません。
救急医療の立場から見た予防、それが“予防救急”です。人間には必ず死がおとすれますが、生きているからには“健康寿命”を、また社会に必要なと自覚できるためにも“労働寿命”を延ばしたいものです。病気や怪我の予防と急病・急変へ至ったときの備えについてお話します。

《講師》プロフィール

株式会社麻生 飯塚病院 副院長(経営・医工連携担当)
救命救急センター所長

鮎川 勝彦

鹿児島県生まれ。1981年九州大学医学部卒業、九州大学附属病院救急部・麻酔科・集中治療部に17年勤務。1998年株式会社麻生飯塚病院救急部部長、集中治療室室長を経て、1999年同院救命救急センター所長、2007年経営担当副院長、2012年医工連携担当副院長を兼務。



併設イベント(マリーホール前駐車場)

13:00~14:00

○消防車・救急車の展示



○防火衣試着

お子様に限ります。写真撮影をご希望の方は、カメラをご持参ください。

○救急クイズ



しっかり覚える応急手当。万一の不安を“追い出そう!”

「救命の連鎖」(Chain of Survival) 大切な命を救うために必要な、迅速かつ途切れることなく行う行為



「追い出し猫」の由来

400年ほど前のお話です。西福寺というお寺に猫好きな和尚さんが住んでいました。ある時、1匹の大ねすみが生きて近隣の畑を荒らして回りました。とうとう和尚さんにまで危害が及ぶようになり、見かねた飼育猫が何百匹もの仲間を集め、見事大ねすみを退治したそうです。

